

## 井上家住宅主屋（鉄砲鍛冶屋敷） (いのうえけじゅうたくしゅおく・てっぽうかじやしき)



写真提供：社団法人堺観光コンベンション協会

1543年、種子島(たねがしま)[鹿児島県]に伝わった鉄砲のつくり方を、橘屋又三郎(たちばなやまたさぶろう)が堺に伝えてから、堺は日本一の鉄砲生産地になりました。江戸時代の鉄砲鍛冶屋敷の面影(おもかげ)を現代に伝える唯一(ゆいいつ)の貴重な建物で、市の有形文化財(ゆうけいぶんかざい)です。

### Q. 橘屋又三郎(たちばなやまたさぶろう)ってだれ？

A. 種子島(たねがしま)[鹿児島県]に鉄砲が伝わった時、領主(りょうしゅ)の種子島時堯(たねがしまときたか)は2丁の鉄砲を買い、地元の鍛冶に複製を作らせたんだよ。このことを聞きつけた人物の一人が「橘屋又三郎(たちばなやまたさぶろう)」だよ。堺の商人だった又三郎は、種子島で鉄砲をつくっていた鍛冶の八板金兵衛(やはたきんべえ)に弟子入りしてつくりかたを学び、堺で作るようになったんだ。橘屋又三郎は「鉄砲又(てっぽうまた)」とよばれるようになり、堺でつくった鉄砲を全国各地へ売りこんだんだよ。

### Q. ほかに鉄砲で有名なひとはいる？

A. 芝辻清右衛門(しばつじせいえもん)という人がいるよ。紀伊国(きのくに)[現在の和歌山県]の津田監物(つだけんもつ)も種子島時堯(たねがしまときたか)から鉄砲を1つ買ってもちかえり、根来(ねごろ)[和歌山県岩出市(いわでし)]の職人であった芝辻清右衛門(しばつじせいえもん)にその複製をつくらせたんだ。のちに芝辻清右衛門(しばつじせいえもん)は堺に移り住み、堺が鉄砲生産の中心地になったんだよ。そして芝辻家は、代々鉄砲生産を担うことになり、芝辻理右衛門(しばつじせいえもん)は徳川家康(とくがわいえやす)に大筒(おおづつ)を献上(けんじょう)したんだよ。

**Q. たてもののなかに入れるの？**

A. 残念ながら内部は非公開なんだ。

出典：堺市ホームページ[2012/8/15 現在]

<http://www.city.sakai.lg.jp/renaissance/site/index.html#03>

平成 28 年度版堺市中学校社会科『わたしたちの堺』P45 堺市教育委員会